

メディアと連携 NHKのアナウンサーと大和川でフィールドワークを実施しました

～大和川流域の特徴とリスクを知り、住民の命を守るために情報発信について考える～

○災害等ハザード・リスク情報が地域の人々の避難行動に結びつくよう、マスメディアと連携し、情報提供・共有方法の充実を図ることを目的に今回はNHKのアナウンサーと大和川でフィールドワークを実施しました。

○大和川河川事務所の災害対策室にて、出水時に活用できる『水害リスクライン』『川の防災情報』『浸水ナビ』について説明し、住民へ発信する情報について意見交換を実施しました。

○大和川の危険箇所や個別対応区域、特定区間危険箇所等を合同で巡視し、背後地の地形や設置されている水位観測所・危機管理型水位計、河川監視カメラ等の位置を確認してもらいました。

【日 時】令和7年9月22日（月） 9時30分～15時30分

【場 所】大和川河川事務所 災害対策室、大和川の危険箇所・特定区間危険箇所・個別対応区域

【参加者】NHK大阪放送局／奈良放送局のアナウンサー 計5名

災害対策室での説明の様子



フィールドワークの様子



【参加者の声】

- ・ 災害対策本部を設置した際に、河川管理者が情報をどのように確認しているか把握できて、勉強になった。
- ・ 水が流れにくく、水位が上がりやすい『亀の瀬狭窄部』等に設置されている河川監視カメラ映像を活用して、住民の方へ危機感を伝えていきたい。
- ・ 異動等でメンバーが入れ替わるため、定期的に意見交換を実施できる環境を作りたい。

【今後の展望】

- ・ フィールドワークを通してメディアへ情報提供・共有を進めることができた。引き続き意見交換を行っていきたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
大和川河川事務所 流域治水課
〒582-0009

大阪府柏原市大正2丁目10番8号
TEL 072-971-1381 (代表)

